

平成 30 年 度

理工学群共生システム理工学類  
アドミッション・オフィス(AO)入試  
学生募集要項



〒960-1296  
福島市金谷川1番地  
☎024-548-8064 (入試課)  
<http://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学  
スマートフォン対応サイト



# 目 次

I. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
II. 募集人員等	2
III. 出願資格	2
IV. 出願手続	3
1. 出願期間	
2. 願書提出先	
3. 出願方法	
4. 志願票等出願書類の記入上の注意	
5. 出願状況について	
6. 受験票について	
V. 障害等のある入学志願者の事前相談	5
VI. 選抜方法	5
1. 第1次選抜	
2. 第2次選抜	
VII. 合格者発表	6
VIII. 入学手続	6
1. 入学手続について	
2. 入学辞退者の取扱い	
3. 入学時の大学への納入金	
4. 入学料・授業料の減免について	
IX. 入試情報公開（開示）について	7
1. 試験問題等の公開について	
2. 入学試験個人成績等の開示について	
X. 入学志願者の個人情報保護について	7
XI. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について	8
XII. その他	9
ポスターの利用について	
【参考】 ポスター作製上のアドバイス	9

この要項には、次の提出書類が添付されています。

1. 入学志願票, 写真票, 受験票
2. 志願理由書
3. 検定料収納証明書貼付票, 検定料免除申請書
4. 受験票等送付用封筒
5. 宛名票（シール）

# I. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

## 共生システム理工学類

### 1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

人間について知りたい、ものづくりや企業経営に興味がある、自然や環境を調べたい、の少なくともどれか一つに当てはまり、人間社会の抱える問題に関心がある皆さんの入学を歓迎します。本学類での学習は、高校までの数学・理科を基礎に発展させますが、変化を続ける人間社会とその課題を理解する力も必要です。そのため、この学類への入学と勉学に強い意欲を持つ人を対象に、本学で学ぶために必要な基礎学力、柔軟な思考力、分析・観察力を評価し、入学者を選抜します。なお、入学の1年後には専攻配属が行われます。

各専攻の教育は以下のような特色をもっています。

#### [人間支援システム専攻]

人理解や人間支援又はそれらの基礎となる分野に強い関心があり、卒業後、人間支援技術分野で活躍したいと考えている人、特に、心理学や生理学などの生体システム科学、情報工学や機械・電気・電子工学などを基礎とする人間支援の技術開発に強い関心と意欲のある人を求めます。

この専攻では、他大学では複数学科にまたがっている人理解と人間支援に必要な基礎・専門科目を総合的に学ぶことができます。

#### [産業システム工学専攻]

ものづくりが好きで企業経営にも強い関心があり、卒業後、製造業、起業家、弁理士などの産業支援分野で活躍したいと考えている人、特に、化学工学、材料工学などを基礎とする環境負荷の少ないものづくり技術や、情報工学、経営工学、数理科学およびそれらを基礎とする省資源・循環型社会システムの構築に強い関心と意欲のある人を求めます。

この専攻では、他大学では複数学科にまたがっているものづくりに必要な基礎・専門科目と産業社会システムに関する基礎・専門科目を総合的に学ぶことができます。

#### [環境システムマネジメント専攻]

水資源などを中心とした自然資源の確保・保全に強い関心があり、卒業後、環境管理者、環境計量士、公害防止者として活躍したいと考えている人、環境分析化学、浄化工学、生態学や地域計画、流域管理計画などを基礎とする環境システムの学習に強い関心と意欲のある人を求めます。

この専攻では、他大学では複数学科にまたがっている環境の科学と保全・管理に必要な環境システムに関する基礎・専門科目を総合的に学ぶことができます。

## 入学試験の種類

本学類に入学していただくには、以下の4種類の入試があります。

### アドミッション・オフィス（AO）入試（募集人数 30人）

高等学校までの学習全般を含む総合問題、自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑、志願理由書および調査書により、高等学校の基礎的な学力、科学的思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

### 推薦入試（募集人数 20人）

小論文、面接、志願理由書および調査書により、基礎学力、理解力、論理的な思考能力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の評定平均値が4.0以上の人を対象としており、高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

### 3年次編入学（募集人数 若干名）

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に、面接と提出書類（志願理由書、卒業研究概要、推薦書、調査書）により、志望する専攻で学ぶために必要な基礎的な学力をもち、専攻分野での学習意欲が高い人を選抜します。

### 一般入試（募集人数 前期日程 80人、後期日程 50人）

理科1科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査、センター試験（5教科7科目）および調査書により、基礎的な科目を広く習得し、理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

## Ⅱ. 募集人員等

学 群	学 類	専 攻	募集人員
理工学群	共生システム理工学類	人間支援システム専攻	30人
		産業システム工学専攻	
		環境システムマネジメント専攻	

### 【注意事項】

- ① AO入試による選抜で入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は共生システム理工学類一般入試（前期日程）の募集人員に加えます。
- ② 入学者の所属専攻は、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

## Ⅲ. 出 願 資 格

次の1から3のいずれかに該当するとともに、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者とします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成30年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
  - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準じる者で文部科学大臣の指定したもの
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成30年3月31日までに修了見込みの者
  - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または平成30年3月31日までに修了見込みの者
  - ④ 文部科学大臣の指定した者
  - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定に合格した者を含む。）および平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの（平成12年4月1日に生まれた者を含む。）
  - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの（平成12年4月1日に生まれた者を含む。）

（注）出願資格3⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の様式に必要事項を記入し、必要書類を添えて、平成29年8月4日（金）〔午後5時必着〕までに提出してください。

なお、個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課に問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

## IV. 出 願 手 続

### 1. 出 願 期 間

平成29年9月4日(月)～9月7日(木) 午後5時まで

### 2. 願書提出先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地

☎ 024-548-8064

### 3. 出 願 方 法

入学志願者は、下記書類を取り揃え、必ず書留速達にして郵送してください。封筒の表には「共生システム理工学類AO入試出願書類在中」と朱書してください。出願期間を過ぎた場合は受理できませんので、郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし、平成29年9月6日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

### 出 願 書 類

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票 写 真 票 受 験 票	本学所定の用紙 写真：出願前3カ月以内に撮影したものを指定の場所に貼付してください。 (上半身，正面，脱帽，縦4cm×横3cm)
2. 検定料収納証明書貼付票	「検定料収納証明書貼付票」裏面の「検定料支払方法のご案内」を参照の上、検定料17,000円を下記の期間内に払い込んでください。(払込手数料が別途必要です) <b>【払込期間】</b> 平成29年9月2日(土)～9月7日(木) 午後4時30分まで (注：期間外の払い込みはできません。) 「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料収納証明書貼付票」に貼付した上で出願書類に同封してください。 入学願書を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。 ただし、第1次選抜の不合格者に対しては、本人の請求に基づき、13,000円を返還します。なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。 <b>※検定料免除について</b> 本学では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、平成29年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。 免除の条件については7ページの「Ⅺ. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。
3. 調 査 書	高等学校長または中等教育学校長が作成したもの（開封無効）。 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格者は、成績証明書を調査書に代えることができます。

出願に必要な書類	摘 要
4. 志願理由書	本学所定の用紙（本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」( <a href="http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html">http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html</a> )からもダウンロードできます。)志願者本人が作成したもの。
5. ポスター	<p>課題A：現在、我々が直面する人－産業－環境を取り巻く様々な問題を解決するために、我々はどのような取り組みをすれば良いでしょうか？あなたの関心のある問題を1つ課題設定し、問題解決に向けた独自のアイデアを含む提案を、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。</p> <p>課題B：あなたが関心を持って行った理工学的テーマについての調査・研究・開発（製作）を、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。科学的な新しさ、または社会的貢献の可能性を含む課題設定を求めます。</p> <p>上記の課題の1つを選択し、9ページのアドバイスを参考に、以下の様式により作成してください。</p> <p>○サイズ：模造紙サイズ（788mm×1,091mm）</p> <p>○用紙の材質・色およびポスターの縦横ならびに文字等の数・大きさ、写真等の貼付け等は自由とします。</p> <p>○ポスターの裏面に住所、氏名、学んでみたい専攻名を記載し、封筒に入る大きさに折りたたんで、出願してください。</p>
6. 受験票等送付用封筒	<p>本学所定の封筒</p> <p>志願者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、362円分の切手を貼ってください。</p> <p>なお、<b>受験票は第2次選抜受験の際に必要な</b>なります。</p>
7. 宛名票(シール)	<p>本学所定の用紙</p> <p>合格通知を受けるところの郵便番号、住所、氏名を記入してください。</p>

(注) 1. 出願書類等に不備のある場合は受け付けられません。

2. 廃校または被災、保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の調査書を得られない者は、卒業証明書および成績通信簿（正本または写し）を提出してください。ただし、写しを提出した者は受験の際に必ず正本を持参してください。なお、前記の書類も整わない場合には、本学入試課に問い合わせてください。

#### 4. 志願票等出願書類の記入上の注意

- ① 黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください（ワープロも可）。
- ② 誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し訂正してください。

#### 5. 出願状況について

本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に出願状況等を掲載します。

#### 6. 受験票について

受験票および受験者心得は、9月15日(金)頃に郵送します。

9月20日(水)までに到着しない場合は、本学入試課に連絡し、受験に必要な指示を受けてください。

## V. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1カ月前までに本学入試課まで申し出てください。

## VI. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜により行います。

### 1. 第1次選抜

出願時に提出されたポスターおよび出願書類を総合的に評価し、60名程度を第1次選抜合格者とします。

なお、志願者が60名を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとします。その際は、受験票送付時にお知らせの文書を同封するとともに、9月14日(木)に本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に掲載します。

**ポスター評価基準：**課題設定の適切さ、知識、独創性、分析力、論理展開の正しさ、表現力等を評価します。

印刷したものであるか、手書きであるか自体は評価に影響しません。

#### 【第1次選抜合格発表】

平成29年9月28日(木)午前11時に本学入試課前の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲示するとともに、本人あてに通知します。

### 2. 第2次選抜

第1次選抜合格者には、総合問題、ポスター口頭説明および質疑応答を課し、総合的に評価し選考します。

**総合問題：**高等学校（中等教育学校後期課程含む。）までの学習全般を範囲とした問題を出します。

**ポスター口頭説明：**選択した課題について、出願時のポスターを用い、5分程度で説明してください。および質疑応答  
その後、面接員との質疑応答を実施します。課題設定の適切さ、課題に対する理解、知識、独創力、分析力、論理展開の正しさ、表現力ならびにコミュニケーション能力等を評価します。ポスター口頭説明および質疑応答では、発表原稿等、手持ち資料の持ち込みは認めません。提出したポスターのみを用いてください。

#### 【選 抜 日 程】

試 験 日	時 間	試験科目等	試験会場
平成29年10月14日(土)	10:00~11:30	総合問題	福島大学
	13:00~17:00 終了予定	ポスター口頭説明および質疑応答	

試験会場の詳細については、受験票送付の際に、あわせてお知らせします。

## Ⅶ. 合格者発表

平成29年10月19日(木) 午前11時

合格者の発表は本学入試課前の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲示します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を郵送します。電話による合否の問い合わせには応じません。合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

## Ⅷ. 入学手続

### 1. 入学手続について

合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

平成29年12月15日(金)～22日(金) 午後4時必着

- (注) 1. 指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。  
2. 入学手続が完了したときは、他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。）を受験しても合格者となりません。

※公立大学協会のウェブサイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

### 2. 入学辞退者の取扱い

原則として、AO入試に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、平成29年12月22日(金)までに「入学辞退願」（様式は任意）を提出してください。

### 3. 入学時の大学への納入金

入学料（予定額）	282,000円
----------	----------

- (注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。  
2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合（留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む）は、入学料の返還はできません。

#### (参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額（予定額）は次のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料（予定額）	前期分	267,900円
	後期分	267,900円
	合計（年額）	535,800円

#### 2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。



#### 4. 入学料・授業料の減免について

経済的理由により入学料または授業料の納入が困難で、かつ、高等学校等における学業成績が優秀と認められる場合には、選考のうえ入学料または授業料の減免が許可される制度があります。

### Ⅸ. 入試情報公開（開示）について

#### 1. 試験問題等の公開について

総合問題については、問題および解答例を合格者発表後に公開します（学内閲覧のみ）。

#### 2. 入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

① 開示期間 平成30年5月7日(月)～5月31日(木)

② 開示方法 平成30年4月上旬、本学ウェブサイトに掲載します。

<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>

③ 開示内容

ア. 第1次選抜については、ポスターの成績、第2次選抜については総合問題、ポスター口頭説明および質疑応答の成績。

イ. 調査書については、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知書と同等のもの）。

### Ⅹ. 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

○ 入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む。）に利用します。

○ 入学手続完了者にとっては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にとっては、入学試験の成績等当該免除者または奨学金貸与者の選考判定に利用する場合があります。

なお、合格者にとっては、国公立大学の一般入試における合格者決定業務を円滑に行うため、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

## XI. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、平成29年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

（注：検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。）

### (1) 対象者

次のいずれかに該当すると認められた平成29年度の本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

### (2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

- ① 検定料免除申請書（本要項に添付された指定の様式）

- ② 次に挙げる証明書のいずれか1つの写し

上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

### (3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に、出願書類と合わせて提出してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。また、「検定料収納証明書貼付票」の提出は不要です。

## XII. そ の 他

### ポスターの利用について

本学では、オープンキャンパスでのAO入試説明会会場において、高い評価を得たポスターを数点展示します。また、希望者に入試課窓口でのこれらの閲覧（写真撮影・コピー不可）を許可します。展示や閲覧の際には、氏名等を伏せた上で提出されたポスターを利用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 【参考】

#### ● ポスター作製上のアドバイス ●

アドミッション・オフィス（AO）入試に出願するポスターを作製する際には、以下に挙げる点に留意してください。

- この入試でいう「ポスター」には、「出願者が着目した現代社会における問題に対する独自のアイデアを含む提案【課題A】」、あるいは「出願者の調査・研究・開発（製作）【課題B】」について、提案または結論のみならず、そこに至るまでの道筋が明確に読み取れることが求められます。そのため、文章や図、グラフ、写真、表などを用いて、詳しくかつわかりやすく表現されたポスターが期待されます。このようにここでいう「ポスター」は、美術の授業等で作製するような、いわゆる広報用ポスター（例えば交通安全や虫歯予防などを呼びかける標語ポスター）ではないことに十分注意してください。
- 第2次選抜の口頭説明の際には、面接員はポスターを2m程度離れた位置から見ることになります。このため、文字の大きさは少なくとも高さ20mm程度必要となります。
- 説明のために必要な図表等を書籍やホームページなどから引用した場合は、必ず、出典を明示してください。
- 5ページの「ポスター評価基準」をよく読み、作製したポスターからそれぞれの評価項目が読み取れることを確認してから出願することを、強く勧めます。



# 福島大学案内図

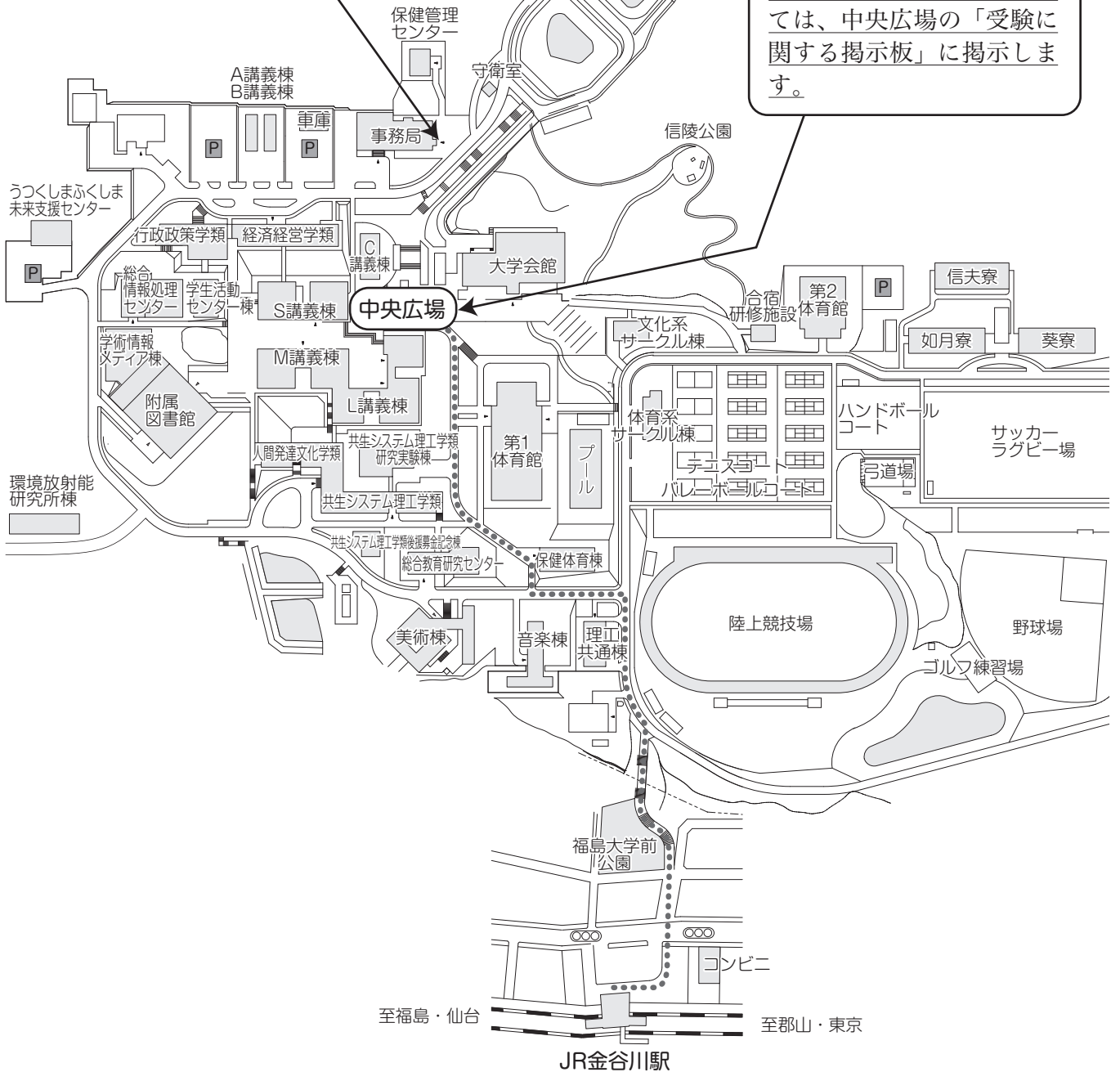


県道 至福島  
福島・安達線 (旧国道4号)  
至松川町

入試課 (1F)  
(合格者発表掲示板)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



かなやがわ  
JR東北本線金谷川駅下車  
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University